

21年政治資金収支報告書で判明

これまで関係否定

秋葉復興相が支部の国連会系団体が、「統一協会」(世界平和統一家庭連合)のタリー団体「世界平和連合宮城県連合会」に金額を払っていたことが、宮城県が25日公表した2021年分の政治資金収支報告書でわかった。

→関連②面・特集⑤面

同報告書によると、「自民党宮城県第一選挙区支連合会」は昨年1月、世界平和連合宮城県連合会に「会費」として2万4000円を支出ししました。

同連合会の住所は、仙台市青葉区にある統一協会

政治組織「国際勝共連合會県本部」の事務所と同じ部屋です。

秋葉復興相は今年8月の復興相就任金で統一協会との関係を問われています。

その際、「私について申し上げれば、私が認識している限り、田統一協会が主催してくる集会に出席した

結果、公明党中央は25日、「軍事力強化に関する実務者によるワーキングチーム(W-T)」の第7回会合を開催しました。会内で開きました。両院は他国領土を攻撃する「反撃能力」(敵基地攻撃能力)の保有について本格的な議論を開始しました。

→関連②面

終了後の記者団への説明によると、政府側から「反撃能力」についての考え方を聴取。政府は、現在のミサイル防空システムで防護できなかった場合、「反撃」は可能との議論もなされま

した。

また記者団への説明では、これまで「反撃能力」は、これまで「反撃能力」の保有の是非について態度表明したことなかった公明党議員からも同能力保有についていた。



秋葉復興相